

7月研修便りvol. 4

ラダーレベルV：自部署の看護マネジメント 問題解決思考を学ぶ

新人看護師：急変時対応 BLS



何より正しい手技で
絶え間ない胸骨圧迫

BLSの手技を再確認し、シミュレーショントレーニングしました。新人看護師もチームの一員、患者の急変時には、救命処置に参加できるようになってほしい。今回の研修を通して『人、物を集める』『BLSの実施』『リーダーに声かけし、指示を受けて動く』など、実際に自分たちのできることがイメージできていました。

(教育担当看護師長)



＜看護チーム編＞急変時の役割分担フローチャート		
看護師A	看護師B	看護師C
救命の決定	緊急コールを要する	病室に駆けつけ、患者情報を確認
緊急処置の準備 （オキシゲン・吸引機）	ドクターコール、 応援要請	胸骨圧迫実行
呼吸器 （吸引機、心停止時）	救急カード、モニタ ターA/B設置	救命薬の準備
AED設置・操作	AED設置・操作	記録、患者家族への連絡
胸骨圧迫の準備	モニタ設置、 観望者を入れる	外回り業務
救命薬の準備（アドレナリン）	気道確保、BVM 使用	患者室に付随する 患者の家族の対応
吸引機・吸引管の準備	救急交代しCPR 継続	救急交代しCPR 継続

当院の急変時対応
マニュアルから緊急
コール、役割分担な
どルールを確認。
チームワークが
とても大切。



私たちの考えていた問題は
本当の問題だろうか・・・



問題の本質をつかんでいないと、
解決策も全てズレていくね。

研修生が取り組んでいる自部署の課題を事例とし、問題解決の第一段階、『現状把握・課題認識』を行ないました。グループメンバーと問題の根拠となる事実を言語化していくと、問題を表面的に捉えて、過去の経験値で対策を考えている傾向に気づきました。問題解決において問題の本質をつかむ重要性を理解してもらいました。(教育担当看護師長)

ラダーレベルII：後輩支援

新人だった時、
1つ上の先輩に
よく助けてもらった
ことを思い出した。



自分の事に必死になってしま
うこともあるが、もっと意
識して後輩に声をかけてい
こうと思う。

レベルIIの目指す後輩支援は「新人の心身の状態を気にかける」です。年齢も経験年数も一番近い研修生。新人にとって身近な存在になってほしい。事例検討、ロールプレイを通して、新人看護師の現状や気持ちの理解、そして『気にかける』を具体的な行動でイメージしてもらいました。(教育担当看護師長)

